藻類 Jpn. J. Phycol. 36: 61–63, March 10, 1988

新村　巌*・宮地和幸**・野呂忠秀***: 糸野洋先生の御逝去を悼む

Iwao Shinmura*, Kazuyuki Miyaji**, Tadahide Noro***:
Hirosi Itono (1943–1987)

鹿児島大学理学部教授，水産学博士・理学博士，糸野洋先生は昭和62年5月17日に膵臓癌のため，43才の若さで御逝去されました。先生は同年2月頃体調の不調を訴えて訪ねた鹿児島市立病院で膵臓癌と診断され，即鹿児島大学医学部付属病院に入院し療養を続けましたが，病巣の転移は予想以上に早く，僅か3カ月後には不帰の人となりました。先生は病室にタイプライターを持ち込んで，論文執筆を続けるのみならず，内定を受けた文部省科研費の申請書を夫人に口述筆記してもらい，さらには学生を病院に呼んで卒業研究の指導に当たるなど，最後まで研究と教育にその情熱を注がれました。

先生は昭和18年7月15日，広島県海田町に生まれ，昭和41年鹿児島大学水産学部漁業学科増殖学専攻を卒業後，ひき続き水産専攻科に進学され，昭和43年4月に修了しました。そして，同年12月から同大学助手（水産学部）として勤められ，昭和52年5月に同大学理学部生物学科の創設と同時に理学部講師として転任され，昭和55年4月助教授を経て，昭和61年4月教授に就任されました。その間，昭和55年に6カ月ほどタイ国カセサート大学へ日本学術振興会より在外研究員として派遣されました。

先生は水産学部時代に鹿児島大学名誉教授田中　剛先生のもとで，南西諸島の海藻のフローラを調べることに従事し，特に紅藻類イギス科の植物に興味を持たれて，その分類学的研究に没頭されました。その結果，昭和51年3月「南日本産紅藻類イギス科の分類学的研究」という題で，北海道大学から水産学博士の学位を授与されました。その成果は500頁にも及ぶ単行本にまとめられ，西独より出版されました。この本はこのグループの分類学的研究にはなくてはならない文献となり，最近のイギス科に関係する論文には必ず引用されています。理学部に移られてからは今までの紅藻類のイギス科の研究の他に，新たに紅藻類スギノリ目のうちあまり知られていない幾つかの科の雌の生殖器官に興味を持たれて，その研究に専心されました。その成果は「あまり知られていないスギノリ目に属するいくつかの科の雌性生殖器官の形態とその分類学的関係」という論文となり，昭和59年3月に北海道大学から理学博士の学位を与えられました。先生の分類学的興味は紅藻にとどまらず，緑藻，褐藻についても幅広く研究され，20年余の研究生活の間に5新属と36新種を創設しました。

筆者の一人である，宮地は糸野先生が助手になられた当初から教えを受けた一人であるが，その頃の先生は処女論文を発表し，旺盛に研究意欲に燃えていた頃でした。当時，先生は「採集は出来るだけ沢山採ること。そして，スケッチは出来るだけ大きく書くこと。」と田中先生に言われたといって，それこそ畳1畳ほどの大きさに書かれたフタツガサネやリュウノタマなどのスケッチが積み重ねられていました。その当時の植物研究室は年に3回，必ず鹿児島大学水産学部の練習船南星丸を使って，ドレッジ採集に奄美大島や種子島の付属島である馬毛島，その他の島々に調査に行ったものです。調査地点ではドレッジ採集のみならず，先生はスクーバ潜水でも採集されていました。その様な中で，エツキヒビロウド (*Gibsmithia* sp.) は奄美大島，竜郷湾での停泊中にスクーバ潜水で 35 m の所から採集されたものです。

先生は特に南西諸島に多くの足跡を残しておられ，

北はトカラ列島から南は与那国島までくまなく採集調査されています。さらに日本だけでなく，台湾，グァム，タイ，フィジーでも精力的な採集を行ってきました。採集には海外に何回も足を運んでいる先生でしたが，とうとう先生は本格的に欧米の国に留学し，研究することなく亡くなられました。唯，昭和52年8月米国サンタバーバラで開催された第9回国際海藻シンポジュウムに出席され，*Actinotrichia* の新種について発表されています。

先生の研究態度は常に厳しく，特に学生があやふやなことを言ったり，書いたりすると「よくみて調べてから言いなさい」とよく注意されたものです。3，4年前までは朝4時頃に教室に入られ，日中の授業のあい間も惜しまれ，夜更けまで検鏡とスケッチに余念がなかったそうです。

先生がこれからも紅藻類の進化や系統だけでなく，藻類の分類学に対して，さらに多大な貢献をされるものと期待されていただけに，まことに残念でなりません。昭和61年植物学会鹿児島大会の折り，お合いした方々もこれほど早くなくなられるとは誰一人として信じられなかったことと思います。

終わりに先生の御業績を紹介し，心から御冥福をお祈り申し上げます。

(*892 鹿児島市錦江町11-40 鹿児島水産試験場,
**274 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部,
***890 鹿児島市下荒田4-50-20 鹿児島大学水産学部)

業 績 目 録

1) 田中 剛・糸野 洋. 1968. 奄美大島の海藻. 海中公園センター調査報告・奄美群島自然公園予定地基本調査書 鹿児島県：191-201.
2) 田中 剛・糸野 洋. 1968. 与論島の海藻. 同上 317-325.
3) TANAKA, T. and ITONO, H. 1969. On the two species of *Avrainvillea* from southern Japan. Mem. Fac. Fish., Kagoshima Univ. **18**: 1-6.
4) TANAKA, T. and ITONO, H. 1969. Studies on the genus *Neurymenia* (Rhodomelaceae) from southern Japan and vicinities. Mem. Fac. Fish., Kagcshima Univ. **18**: 7-27.
5) ITONO, H. 1969. The genus *Antithamnion* (Ceramiaceae) in southern Japan and adjacent waters-1. Mem. Fac. Fish., Kagoshima Univ. **18**: 29-45.
6) 田中 剛・糸野 洋. 1969. 桜島・神瀬，沖小島，知林ケ島，長崎鼻，佐多岬の海藻. 霧島・屋久国立公園・錦江湾海中公園調査書. 鹿児島県：83-95.
7) 田中 剛・糸野 洋. 1969. 蒲江海域の海産植物. 大分県海中公園候補地学術調査報告書. 大分県：45-52.
8) 糸野 洋. 1970. 本邦南海産クジャクノハネモ属植物二種について. 藻類 **18**：121-126.
9) 糸野 洋. 1970. 本邦南海産ヒラシオグサ属植物二種について. 藻類 **18**：127-130.
10) 糸野 洋. 1971. ウスムラサキについて. 藻類 **19**：1-4.
11) 糸野 洋. 1971. エツキヒビロウド（新称）奄美に産す. 藻類 **19**：94-96.
12) ITONO, H. 1971. The genus *Antithamnion* (Ceramiaceae) in southern Japan and adjacent waters-II. Mem. Fish., Kagoshima Univ. **20**: 209-216.
13) ITONO, H. 1971. The genus *Callithamnion, Seirospora, Pleurosporium,* and *Mesothamnion* (Ceramiaceae, Rhodophyta) in southern Japan. Mem. Fac. Fish., Kagoshima Univ. **20**: 217-237.
14) ITONO, H. 1972. The genus *Ceramium* (Ceramiaceae, Rhodophyta) in southern Japan. Bot. Mar. **15**: 74-86.
15) ITONO, H. 1972. Two species of genus *Titanophora* (Rhodophyta) in southern Japan. Bot. Mag., Tokyo **85**: 201-205.
16) ITONO, H. 1972. Three species of Delesseriaceae (Rhodophyta) from southern Japan. Micronesica **8**: 43-53.
17) TANAKA, T. and ITONO, H. 1972. The marine algae from the island of Yonaguni-II. Mem. Fac. Fish., Kagoshima Univ. **21**: 1-14.
18) 田中 剛・糸野 洋. 1972. 志布志湾の海藻及び石サンゴ類の生種状況. 志布志湾地域の生態学的基礎調査（志布志湾臨海部とその周辺海域及び背後地 20 km 圏域），㈱地域開発コンサルタンツ：87-97.
19) ITONO, H. 1973. Notes on marine algae from Hateruma Island, Ryukyu. Bot. Mag., Tokyo **86**: 155-168.
20) ITONO, H. and TANAKA, T. 1973. Balliella, a new genus of Ceramiaceae (Rhodophyta). Bot. Mag., Tokyo **86**: 241-252.
21) 糸野 洋. 1974. 薩摩半島西岩河川の水生植物調査. 鹿児島県西部及び北部地域自然環境保全基本調査. 鹿児島県自然愛護協会報告：149-157.
22) OHMI, H. and ITONO, H. 1976. A new species of the genus *Liagoropsis* (Rhodophyta) from southern Japan. Journ. Jap. Bot. **51**: 199-203.
23) ITONO, H. 1977. Studies on the southern Japanese species of *Galaxaura* (Rhodophyta). Micronesica **13**: 1-26.
24) TANAKA, T. and ITONO, H. 1977. On two species of Chlorophyta from southern parts of Japan. Bull. Jap. Soc. Phycol. **25**: 347-352.
25) ITONO, H. 1977. Studies on the ceramiaceous

algae (Rhodophyta) from southern parts of Japan. Biblio. Phycol. **35**. 499p. J. Cramer, Vaduz, W. Germany.

26) ITONO, H. 1979. *Actinotrichia robusta*, a new species of the Chaetangiaceae (Nemaliales, Rhodophyta). Jap. J. Phycol. **27**: 137–141.

27) ITONO, H. 1979. Vegetative structure of *Plumariella yoshikawae* OKAMURA (Ceramiales, Rhodophyta) and its systematic position. Rep. Fac. Sci., Kagoshima Univ. (Earth Sci. and Biol.) **12**: 39–49.

28) 糸野 洋. 1979. 再び馬毛島の海藻について. 自然愛護 **5**：3-4 鹿児島県自然愛護協会.

29) ITONO, H. 1980. The genus *Galaxaura* (Rhodophyta) in Micronesia. Micronesica **16**: 1–19.

30) ITONO, H. and TSUDA, R.T. 1980. New algal genera and species records from Micronesia: *Chamaedoris orientalis* (Chlorophyta) and *Rhodopeltis gracilis* (Rhodophyta). Micronesica **16**: 21–27.

31) ITONO, H. and TSUDA, R.T. 1980. *Titanophora marianensis* sp. nov. (Nemastomataceae, Rhodophyta) from Guam. Pac. Sci. **34**: 21–24.

32) 糸野 洋. 1980. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-I. 概説1. 海洋と生物 **2**：69-75.

33) 糸野 洋. 1980. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-II. 概説2. 海洋と生物 **2**：140-146.

34) 糸野 洋. 1980. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-III. 族の分類. 海洋と生物 **2**：222-225.

35) 糸野 洋. 1980. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-IV. 各論1. ワレニア族, ヨツノサデ族, フタツガサネ族. 海洋と生物 **2**：294-298.

36) 糸野 洋. 1980. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-V. 各論2. ウスムラサキ族, ホソガサネ族, ドールニエラ族. 海洋と生物 **2**：464-468.

37) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-VI. 各論3. イギス族. 海洋と生物 **3**：69-73.

38) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-VII. 各論4. ランゲリア族, ウブゲグサ族, キヌイトグサ族. 海洋と生物 **3**：147-151.

39) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-VIII. 各論5. クシベニヒバ族. 海洋と生物 **3**：228-231.

40) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-IX. 各論6. クスダマ族, スホンディロタムニオン族. 海洋と生物 **3**：306-309.

41) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-X. 各論7. カザシグサ族, ヒビタマ族（その1）. 海洋と生物 **3**：345-349.

42) 糸野 洋. 1981. 紅藻イギス科藻類の分類と分布-XI. 各論8. ヒビタマ族（その2）. 海洋と生物 **3**：44-45.

43) 糸野 洋・鯵坂哲朗. 1982. フィジー諸島産海産藻類の分類学的研究. 文部省指定特定研究経費 オセアニア海域における水陸総合学術調査-I. 昭和56年度研究経過報告書（鹿児島大学）no. 2, 74-75.

44) ITONO, H. 1984. Female reproductive structure of *Rhodopeltis borealis* (Gigartinales, Rhodophyta) with notes on its taxonomic position. 文部省特定研究経費. 琉球弧南端海域の海洋環境に関する総合研究速報. 鹿児島大学：11-17.

45) ITONO, H. 1985. Some noteworthy species of *Galaxaura* (Chaetangiaceae, Rhodophyta). from Fiji. Kagoshima Univ. Res. Cent. South Pacific, Occasional Pap. **5**: 42–51.

46) ITONO, H. 1985. *Rhodolachne radicosa*, a new species of red alga (Rhodomelaceae, Ceramiales) from Fuji and southern parts of Japan. Kagoshima Univ. Res. Cen. South Pac., Occasional Pap. **5**: 53–64.

47) 糸野 洋・榎本幸人・今野敏徳・鯵坂哲朗・ヴィタヤ・スリマノーパス. 1985. 台湾蘭嶼島の海産藻類：紅藻（予報）. 文部省特定研究経費 琉球弧南端海域の海洋環境に関する総合研究報告（鹿児島大学）No. 2, 29-31.

48) ITONO, H. 1986. New records of marine algae from southern parts of Japan. Jap. J. Phycol. **34**: 74–82.

49) ITONO, H. 1986. Female reproductive organ and systematic position of *Plumariella yoshikawae* OKAMURA (Ceramiaceae, Rhodophyta). Bot. Mag., Tokyo **99**: 155–168.

50) 糸野 洋. 1986. 紅藻類の雌性生殖器の構造. 鹿児島大学南方海域研究センター, 南方海域研究報告 no. 6：29-44.

51) 糸野 洋. 1986. 園山池のタニコケモドキは？ 自然愛護 **12**：1 鹿児島県自然愛護協会.

52) 糸野 洋・鈴木広志. 1987. 神之川のカワゴケソウ科植物の生育現況について. 昭和61年度環境保全対策基礎調査報告書大隅地区. 九州農政局計画部資源課 昭和62年3月；16.